

3/24 月曜

変異株検査 第4波防止の要

厚生労働省によると、すでに国内で発生したとみられる変異株の感染確認事例が17日までに399例に達しています（週1回発表）。空港検疫での確認例を合わせると473例で、北海道、沖縄を含む26都道府県に広がっています。同省が、新型コロナの新規陽性検体の5%～10%程度を変異株検査にかけるとする基準を示す中で、実際には「確認」数の数倍の感染

者が存在すると推測されます。

強力な“感染力”

イギリス型変異株は従来のウイルスより70%も感染力が強いとされ、致死率も64%高いという報告が権威ある医学雑誌『BMWJ』に掲載されています。新型コロナの新規陽性検体の5%～10%程度を変異株検査にかけるとする基準を示す中で、実際には「確認」数の数倍の感染

す。日本より強力なロッタウンのものでもどん

11カ国に広がっています。

すでに新規感染が増加している中で、イギリス型変異株の拡大を許せ

ワクチン効かず

ば、制御不能になり、これまで以上に深刻な医療崩壊を起こす危険があります。

また変異の中には、

ジル株などに見られる

「免疫逃避」というワク

チンの効き目を弱くする

ものもあります。接種が

始まってからワクチンの

た小児等への感染が指摘されています。学校や保育所などを通じて小児や若年層に広がり、そこから家庭や地域に持ち込まれるという新たな感染バ

ー。日本より強力なロッタウンのものでもどん

どん広がり、これまで11カ国に広がっています。

すでに新規感染が増加している中で、イギリス型変異株の拡大を許せば、制御不能になり、これまで以上に深刻な医療崩壊を起こす危険があります。

また変異の中には、ジル株などに見られる

有効性を失わせる恐れがあり、文字通り感染制御

論では田村憲久厚労相

が「東京の検査が少な

い。もう少し（検査）率

をあげて実態がどうな

かよく見ていく」と発言

しました。直近のデータ

（15～19日）でも東京の

検査率は4・83%などとまります。最大の感染拡大地域である東京で、検

査率が異常に低いことは致命的遅れを招きかねま

せん。都と国が責任をもつて検査体制の拡充を進

めようとしています。